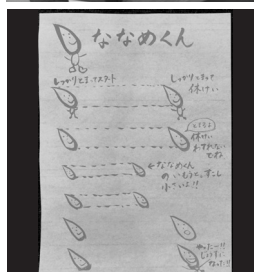


書塾の仲間たち

第280回

松葉書道教室（千葉県柏市）



「ななめくん」で入筆角度の確認をしています



●書塾からひとこと●

私たち松葉書道教室は、幼児から大人まで幅広い年代の方が通う教室です。今年六月で三年目を迎えました。技術の上達はもちろんですが、それぞれの生徒にとって教室が楽しく実りある場所となるように一人ひとりのコミュニケーションを大切にしながら運営しています。

筆を持つのが初めての子ども経験がある子ども、はじめは横線の練習から始めます。筆圧の強弱や穂先の向き、筆の軸の傾きなど難しいことも多くありますが、一緒に筆をとりながら感覚をつかんでいきます。

子どもたちに入筆の斜めの角度が大切だと伝えるために生まれたのが、「ななめくん」という当教室のキャラクターです。

ある時一人の子が「はらい犬だよ!」と言って犬のキャラクターを書いてくれたことがありました。それを見て他の子どもも、「はね犬!とめ犬!」と嬉しそうに書き出して基本点画がよく意識できていることを知り嬉しくなりました。

他にも、お友達の作品を見て褒め合っている姿や悩みながらも一生懸命に筆を運ぶ姿、写真版に掲載された時の嬉しくて誇らしげな笑顔など、子どもたちの素直で頑張る姿が愛おしく、日々やりがいを感じています。

大人クラスでは、初心者から経験者までそれぞれの目標に合わせて毛筆やペン字の指導も行っています。さまざまな古典や課題を取り組む中で、字形や余白、線質の違いなど、美しさを構成する要素を学び、熱心に探究されています。

また、月刊「書写書道」の毎月の課題はモデルステップで基礎からしっかりと学べるので、そこで身につけた力を生かして、大人も子どもも各種コンクールに挑戦しています。これからもそれぞれの歩みに寄り添い、学びある「温かな教室」を作っていきたいと思っています。

松葉書道教室 岡松湧泉

※書塾に連絡したい方は事務局へお問い合わせください。



毎月競書に出品して一級を目指します

静岡県浜松市立雄踏小学校五年

大庭 悠生

僕が書道を始めたきっかけは、姉が書道を習っていたことです。その影響で小学三年生の時に書道を始めました。僕が通っている教室では、先生が分かりやすく丁寧に教えてくださるので、毎週休まず通っています。

今の僕の目標は、日本武道館の月刊「書写書道」の誌上競書に毎月出品をすること、さらに自分の名前欄に昇級のマークがついて写真版で取り上げてもらえるようになることです。そのために、書く時は姿勢を良くして、自分が納得するまで何度も練習を重ねて気持ちを集中して丁寧に書くよう心がけています。

僕が書道を続けてきて良かったことは、二つあります。

一つ目は、書き順や字の形に気を付けながら、きれいな字を書けるようになったことです。そのおかげで、学校でも漢字の書き取りの時に先生にほめられることが増えました。

二つ目は、多くの漢字を覚えられるようになったことです。学校の漢字テストでも高得点を取れるようになりました。

また、字を丁寧に書くことで、周りの人からも「字が上手になったね」とほめられることが増えて、最近では自分でも「上手になったな」と思えるようになり、少し自信が持てるようになりました。ほめられることはとてもうれしいので、書道の授業では先生の話をしっかり聞き、注意されたところを見直して、間違いがないかよく確認しています。

僕の将来の夢はまだ決まっていません。大人になってから自分の名前を書くときに困らないよう、今のうちから丁寧に字を書くことを意識して自分の字に自信が持てるように練習に取り組みようと思います。そして、小学校を卒業するまでに一級以上になることを目標にこれからも努力を続けます。

私と書写書道 第280回



心を込め、きれいに読みやすく書く

静岡県浜松市立舞阪小学校六年

山本 結梨菜

私が書道を始めたきっかけは、兄が書道を習っていたことです。兄の送迎について行くたびに「やってみいな。楽しそうだな」と思い、書道を始めました。書道教室に通っていて良かったことは、たくさんあります。その中でも特にうれしかったのは、周りの人から「字がきれいだね」とほめられたことや、級が少しずつ上がっていくことです。また、先生といろいろな話で盛り上がる時間が楽しみの一つになっています。

書道を始めてから自分で成長したと思えることがあります。それは「集中力」と「字を丁寧に書く習慣」が身についたことです。

一文字一文字をバランス良く、きれいに書くために必要なのは「集中」です。最初はなかなか集中して書けませんでした。ただ、だんだん集中するコツがわかり前より良く取り組めるようになりました。

また、毎週教室に通う中で丁寧に字を書くことが自然と身につく、習慣になりました。丁寧に書くことを心がけるようになってから、周りの人に「字がきれいだね」と言われることも増えました。私は書道を通して、改めて字を「心を込めて丁寧に書く」ことの大切さを学びました。書道教室で学んだことをこれからの学校生活や日常生活にも生かしていきたいです。

私は「きれいで読みやすい字を書くこと」を意識しています。いつもそのことを意識していれば、自分の目標に少しずつ近づけると思っています。今、私はほとんどの級試験に合格することを目標にしています。上の級になるほど上手な人が多く、級を上げることは簡単ではありません。その分、上手な人たちに負けないよう自分も努力を重ねることで、さらに字が上手になると思っています。

これからも書道を続け、目標に向かってあきらめずに挑戦し続ける気持ちで、さらに美しい字を書けるように努力します。